

「風に泳ぐバランスアートをつくろう — 見えない風との出会い」

○実施日 平成24年12月4日（火）

○対象者 銚田市立大洋中学校
第1学年(89名), 第2学年(11名) 計100名

○内容

自然との関わりをテーマに、ケント紙や竹ひごなどを組み合わせ、モビールのように僅かな風でも動く立体を制作する。この活動を通して、目には見えない「空気」「重力」といった地球の力の存在を意識することができる。これからの未来を担っていく子どもたちに、地球との関わり方を問いかけるような活動とする。

○講師

高田洋一氏（現代美術家、彫刻家）



高田氏は、1979年大阪芸術大学美術学科卒業。'81第15回現代日本美術展大賞受賞。'90文化庁芸術家在外研修員としてベルリンに留学。'96ブルネル・アワード奨励賞。和紙、竹、石などを用いた僅かな空気の流れを捉える繊細な造形で、穏やかに動く作品が注目されている。また、教育活動にも力を入れており、'85から全国各地でアートによる出前授業などを実施している。'01～'06の6年間「茨城県教育研修センター」にて、'09には笠間高校において「茨高教研美術・工芸部夏季実技講習会」の講師を務めている。

◆『不思議タネ』を飛ばして



ミラマットという梱包材を加工し、“空気の上”にそっと置く。
ゆらゆらと落ちていく様子をじっと見つめる生徒たち。

見えない空気を感じた瞬間だった。

◆バランス・アートの制作





バランスがうまくとれたときには、生徒たちの中から喜びの声が何度もわき上がっていた。

◆ 体育館を美術館に見立てて



The Museum of Modern Art, Ibaraki

茨城県近代美術館